

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和8年4月1日

事業所名 愛知県青い鳥医療療育センター どんぐり園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		登園数に合わせて使用する部屋を調整しています。換気や消毒を行い感染予防に努めています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準に応じた職員配置になっています。	個々に合った支援を目指します。必要に応じて、他部署と連携します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用児が快適に過ごせるよう、冷暖房を完備しています。また、バリアフリーになっており、親子が安心して活動に参加できる環境を整えています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		療育前にドアノブ等を拭き、感染予防に努めています。療育後に清掃を行っています。使用した玩具は、毎日消毒しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		PDCA サイクルに基づき、施設全体で業務改善に取り組んでいます。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		事業所と保護者等に向けて自己評価を行っています。それらの結果を業務改善に繋げています。	保護者からの意見等を確認し業務改善に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価結果をホームページ等で、公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者による外部評価を行っています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		施設全体で職員研修を行っています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者との面談を行い個別支援計画書を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		年1回小児科受診を行い、その結果を療育に活かしています。	

	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		お子さんの家庭状況を把握し、支援計画を作成しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に沿った支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月案、週案の作成をチームで行っています。	月1回、立案会議を行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子さんに合わせた活動が実施できるように工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		ケース検討日を設け、お子さんの状況を確認しています。その情報を基に計画書を作成しています。	個々のお子さんに応じた個別支援計画書の作成を目指します。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		活動前に職員間でのミーティングをおこなっています。	出席児に合わせた支援内容を確認します。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		活動後に、振り返りを行っています。	振り返りを行い、次回の支援に繋がります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を行い、活動の検証や改善に努めています。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングや見直しを行っています。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には、お子さんの支援者が出席されており、情報共有することができます。	担当者会議では、保護者の思いを確認しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		在住地区の保健センターや子ども課と連携し支援を行っています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		お子さんに合わせて関係機関と連携を行っています。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		青い鳥の外來診療部門と連携するとともに、必要がある場合、主治医と連携を図っています。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		特別支援学校等への見学を行い、情報共有しています。	保護者と面談を行い内容を確認しています。

	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行先の園や就学先の学校等と情報共有しています。		
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		東海地区の通園施設（児童発達支援センター）と連携し、研修を行ったり、情報交換をしています。		
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		交流保育は、行っていません。		
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		名古屋市西区の自立支援協議会に参加しています。		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		親子通園のため、日頃から保護者と課題等について確認しています。	保護者との関わりを大切にし、発達状況や課題について共通理解できるよう支援を行います。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		家族支援の一環として保護者を対象にした勉強会を実施しています。		
	保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に運営規程を配付し、利用者負担等について説明をしています。	保護者が分かりやすい説明を心掛けます。
		③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		お子さんの姿や今後の目標等について説明を行い同意を得ています。	児童発達支援ガイドラインを意識し、支援計画書の作成に努めます。
		③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に談話会を設定し、相談等に対応します。	保護者が相談しやすい環境を設け、個々の家族に適した支援ができるよう努めます。
		③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者同士が交流できる場を設け、保護者同士の関わりを支援しています。	
		③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		お子さんや保護者からの相談等に迅速に対応できるよう努めます。	
③⑰		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		園だより等で、情報を発信しています。		
③⑱		個人情報の取扱いに十分注意している	○		他機関への情報提供時は、保護者に了承を得た上で、情報提供し	個人情報の取り扱いには十分注意していきます。	

					ています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に応じたコミュニケーション手段を取り入れています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		夏祭り等の行事に地域住民の方にも参加していただき交流を図っています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		施設内でのマニュアルに沿って対応を行います。	日頃からマニュアルを確認し、緊急時に対応できるよう努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		施設全体で月1回訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		入園前に小児科診察を受診していただき状況を確認しています。	担当看護師と連携し、体調不良等に対応できるように努めます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーのお子さんは、医師の指示書に基づき対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で情報共有しています。	過去のヒヤリハットや事故報告書にも目を通し職員間で情報共有し、事故の再発防止に努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		施設内で設置している委員会と連携しています。研修会に参加しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束を行う状況の場合は、同意書を作成しています。	年1回以上、身体拘束に関する説明を保護者に行い、同意書を作成しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。